

代表・一般質問



市政を問う!

◎ 代表 質問

奥澤 和行 「5年度施政方針並びに予算案大綱」
(とよかわ未来)

大場 昌克 「5年度施政方針並びに予算案大綱」
(清廉の会)

中川 雅之 「5年度施政方針並びに予算案大綱」
(公明党市議団)

佐藤 郁恵 「普通建設事業起債の考え方、財政見通しなど」「ファシリティマネジメント、コンパクトシティ」「農業を基幹産業とする位置づけ、考え方」「電気他物価高騰のもとで、市民の暮らしの大変さの認識と、支援策」「地球温暖化対策」
(日本共産党豊川市議団)



◎ 一般 質問

井川 郁恵 「子ども施策に関する相談事業」「ヤングケアラーへの対応」

倉橋 英樹 「小中学校のいじめ対策」

安間 寛子 「少人数学級の早急の実施と教育環境の整備」「子ども医療費は18歳まで完全無料化を」「市道『東原西水神平線』の早期の道路改良と、生活道路整備の促進を」

横田 光正 「本市の上下水道事業」

堀内 重佳 「豊川市におけるカーボンニュートラルへの対応」

遠山 剛 「高齢者の安全対策」

八木 月子 「豊川市における少子高齢化対策」

柴田 訓成 「国民健康保険データヘルス計画」

木本 朗善 「豊川市桜ヶ丘ミュージアム」

柴田 輝明 「本市の道路整備の状況」

代表 質問とは?

各党派から1名代表して、市長の予算案大綱説明及び所信表明・施政方針に対して質問することです。質問時間の制限はなく、一括方式(質問回数3回)で行っています。

一般 質問とは?

議員が、市の行政全般にわたって、執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針などを質問することです。質問時間は、通常は議員1人当たり30分(答弁の時間を除く)ですが、3月定例会においては、12月定例会に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として20分に短縮して行いました。質問方式は、一括方式(質問回数3回)または一問一答方式(質問回数無制限)で行っています。

ここに掲載した代表・一般質問の内容は抜粋したものですので、詳しくは、ホームページで公開するインターネット中継(録画)、会議録をご覧ください。

議員ごとにインターネット中継(録画)にアクセスできるQRコードを掲載しています。



【問】 予算編成において特に留意した点は。
【答】 感染症への対応や物価高騰対策等に向けた取り組みを推進し、マニフェスト工程計画や第6次総合計画に位置付ける事業へ重点的に配分。市制施行80周年記念事業を着実に実施し、もつと元気なと



とよかわ未来代表
奥澤 和行
5年度施政方針並びに
予算案大綱について



よかわを目指す。80周年を契機に、市民と行政が丸となって市を盛り上げ、その第一歩を踏み出していきたい。
【問】 中期財政計画で見込んだ事業以外に、新たな課題に対応する大型事業等による後年度負担への影響は。
【答】 計画策定時から状況が変わったものに、本庁舎整備事業の追加などがある。5年度の計画策定は、これらの要因を踏まえて策定するが、公共施設整備基金の有効活用等により、事業を積極的に推進できるような精査し、後年度負担に配慮した計画をまとめていきたい。



清廉の会代表

大場昌克



5年度施政方針並びに
予算案大綱について

【問】計画における「子育て世代を全力で応援」の主な取り組み状況は。

【答】保育所の建て替え等を進行中。また、本市初の公立保育所民営化事業として、小坂井北保育園の認定こども園整備へ補助する。

②計画

マニフェスト工程計画のこと。「元気などよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち」の実現に向け、「3つの基本理念・10の戦略・42の提案」が掲げられている。

③伴走型相談支援

妊婦や乳幼児期の子育て家庭に寄り添い、安心して出産・子育てができるように面談や継続的な情報発信等を行い、必要な支援につなぐ取り組みのこと。

【答】4年度に、産後サポートセンターくるみを開設し、新たに相談専用電話を設置。

5年度からは、出産・子育て応援交付金事業における伴走型相談支援を本格的に開始する。

【問】小中学校の学級運営支援員の拡充は。

【答】5年度予算では、学級運営支援員の個別支援員を5名増員する。

【問】こども家庭庁の発足による組織改革等の市の考えは。

【答】子どもに関する施策を効果的に展開できるよう、関係部署により検討・調整を進め、最適な組織体制が構築できるよう努めていく。



公明党市議団代表

中川雅之



5年度施政方針並びに
予算案大綱について

【問】いじめや不登校に係る今後の対策は。

【答】スクールカウンセラーなど相談体制の充実、ICTを活用した一人一人が活躍する授業などに取り組む。

【問】重層的支援体制整備事業に係る啓発等の今後の取り組みは。

【答】地域の福祉の担

④ヘモグロビンA1c

赤血球中のヘモグロビンが血中のブドウ糖と結合したもので、血糖値が高いほど多くつくられる。採血前1～3カ月間の血糖値の平均が反映され、検査時にたまたま血糖値が低く、見逃しがちな初期の糖尿病も発見されやすい。

⑤健幸マイレージ事業

健診の受診や健康づくりイベントへの参加などで健幸(健康で幸せ)づくりに取り組み、ポイントをためると、参加景品等がもらえる事業。

【問】いじめや不登校に係る今後の対策は。

【答】スクールカウンセラーなど相談体制の充実、ICTを活用した一人一人が活躍する授業などに取り組む。

【問】重層的支援体制整備事業に係る啓発等の今後の取り組みは。

【答】地域の福祉の担

【問】ヘモグロビンA1cの認知度等を高め、健診受診率向上や生活改善につなげる。健幸マイレージ事業等を通じた自己管理意識の醸成とともに、セミナー開催等を継続実施する。



日本共産党豊川市議団代表

佐藤郁恵



5年度施政方針並びに
予算案大綱について

【問】御津の3児童館を統合する計画について、利用者の意見を反映させる考えは。

【答】利用者も含めて地元との調整を行い、理解を得ながら進める。

【問】小規模校の教育的意義やメリットは。

【答】丁寧できめ細かな学習指導を行いやす

⑥御津の3児童館を統合する計画

公共施設適正配置計画や、中学校区に1館を整備するという方針を踏まえ、「あかね」「さわき」「ひろいし」の3児童館を統合し、みと児童館(仮称)を9年度に開館予定。

⑦小規模校

市内には、全学年でクラス替えができない小規模校が「千両」「一宮南部」「萩」「長沢」の4小学校ある。

【問】御津の3児童館を統合する計画について、利用者の意見を反映させる考えは。

【答】利用者も含めて地元との調整を行い、理解を得ながら進める。

【問】小規模校の教育的意義やメリットは。

【答】丁寧できめ細かな学習指導を行いやす

【問】小規模校の教育的意義やメリットは。



ヤングケアラーへの対応について

井川 郁恵



【問】 子ども施策に関する相談事業の概要は。
【答】 保健の分野では、産前産後サポートセンターくるみを設置。その他、子育て、児童発達、養護などの分野に区分し、年齢に応じた相談を実施している。

【問】 ヤングケアラー支援の取り組み状況は。
【答】 対象者の把握、支援に関する知識の習得、関係機関との連携体制の構築などを実施。また、認知度の向上を図るため、県作成のパンフレットを小学5年生から中学3年生までを対象に配布した。

【問】 市の元年度以降のいじめの認知件数は。
【答】 元年度は、小学校150件、中学校69件、2年度は同84件、同40件、3年度は同121件、同69件。

【問】 春日井市では、匿名いじめ相談窓口事業が成果を上げていると聞くが、その概要は。
【答】 児童生徒と保護者を対象に、悩みや被害に関する情報を匿名で携帯電話等から受け付け、学校へ連絡できるようにしている。

【問】 35人学級を市独自で実施する場合に必要な教員の増員数、教室の整備数は。
【答】 5年度に小学校は5年生まで、中学校は1年生で実施予定。仮に6年生と中学校2・3年生で実現する場合、合計17学級の教員と教室が必要になる。

【問】 近隣市の市独自での実施状況と、本市で実施する考えは。
【答】 新城市は4年度から中学校で、蒲郡市は平成25年度から小学校全学年で実施。本市では独自には実施せず、県と同様に進める。



県が作成したパンフレット（小学生版）

【問】 相談につなげる対策は。
【答】 子育て支援課に一般的な相談窓口を設置しているが、年齢にも配慮した気軽に利用できる窓口とするためSNSを含めた専用のホットラインの開設を目指す。具体的な事例や先進自治体の状況を研究し、効果的な活用を検討したい。



【問】 いじめの早期発見・未然防止につながるなどの効果があり、導入を検討すべきと考えるが、市の考えは。
【答】 子供の声をキャッチする方法について、研究を重ねていきたい。



【問】 18歳までの子ども通院医療費無料化に関して、県下及び近隣市町村の実施状況は。
【答】 窓口自己負担額を助成しているのは、5年1月現在、県下54市町村中24団体、東三河は8市町村中4団体。
【問】 無料化の考えは。
【答】 現時点で考えはない。県内各市町村の動向を注視していく。



小中学校のいじめ対策について

倉橋 英樹



少人数学級の早急の実施、子ども医療費について

安間 寛子





上下水道事業について

横田 光正



【問】 断水の規模が大きくなり市単独で対応できない場合の応援体制は、**【答】** 協会では、相互の応援活動のため、会

体制で、管路・施設について各1名の緊急当番を配置。上下水道工事協同組合とは協定書を締結し、災害時の協力体制を確保している。**【問】** 下水道事業会計の経営状況は、**【答】** 3年度の経営比較分析表では、経常収支比率は100%以上

⑧協会
日本水道協会のこと。

⑨浸水想定区域
雨水出水浸水想定区域のこと。想定し得る最大規模の降雨により、排水施設に雨水が排除できなくなった場合等に浸水が想定される区域。

で良好だが、経費回収率は100%を下回り、使用料で回収すべき経費を賄えていない。**【問】** 浸水想定区域指定のスケジュールは、**【答】** 5年度に浸水等のシミュレーションを行い、早ければ6年4月には、区域指定及び公表を行っていく予定。

⑩同様の問題
新都市では、2015年以降だけで少なくとも300ほどの太陽光発電設備が設置され、ソーラーパネルの反射によるトラブルのほか、一部では、敷地の草刈りが行われず市民から相談が寄せられている。また、事業者の分からない施設があり、将来的に老朽化したパネルが放置されるような事態が懸念されている。

【問】 今後増えるであろう太陽光パネルの廃棄についての考えは、**【答】** 環境省が示す「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」に基づき周知を図っていく。**【問】** 新都市は太陽光発電設備の無責任な設置を防ぐための条例を

3月議会に上程するが、本市の考えは、**【答】** 条例制定の計画はないが、同様の問題が発生する可能性はある。新都市を参考に対策を検討していきたい。**【問】** 時代のニーズに即した施策の展開は、**【答】** 5年度以降、既存の補助メニューに加え、ZEHといった住宅建築への支援などの施策を取り入れていく。**【問】** 次世代自動車のさらなる普及のため、インフラ整備に対し支援する考えは、**【答】** 次世代自動車の普及状況等や他自治体の動きを見ながら支援策を検討していきたい。



カーボンニュートラルへの対応について

堀内 重佳



【問】 認知症施策の市の取り組みは、**【答】** 認知症支援体制の整備、認知症に優しい地域づくり、権利擁護施策の充実の3分野の施策を実施している。**【問】** 養介護施設従事者等による高齢者虐待の通報があった場合、市の主な対応手順は、



認知症カフェの活動の様子

【問】 介護高齢課等で通報を受け、事実確認を行う。虐待等が認められた場合、施設等に改善事項などを通知し、施設等は改善計画書を市に提出、市は訪問して評価する。虐待解消や防止の取り組みの継続的な実施体制の整備を確認し、終結となる。

【問】 高齢者虐待の市の認識、今後の方針は、**【答】** 重大な権利侵害で、虐待の解消、生活の再構築による権利擁護の実現が重要。市民や養介護施設等への周知・啓発、家族介護者への支援等を推進し、未然防止・早期発見・適切な対応に取り組む。



高齢者の安全対策について

遠山 剛





少子高齢化対策について

八木 月子



【問】DV被害に遭った場合の市営住宅の一時利用の考えは。

【答】住居確保の問題以外にも個々で抱えている問題への対応を伴うなど、通常の一時利用とは異なる配慮が必要のため、慎重な判断が必要と考える。

⑪市営住宅の一時利用

火事等で住居を失った場合など、次の住まいを確保するまでの通常1カ月以内、最長で3カ月までの緊急避難的な利用のこと。

⑫育休取得時の継続利用

保護者が育休取得する場合には、原則として園児は退園となるが、2歳児以上であることなどの条件により継続利用が認められる特例のこと。

【問】育休取得時の継続利用を全員が利用できるようにする考えは。

【答】育休中の方と育休から復職する方とのバランスを考慮する必要がある。現行の取り扱いを当面維持するが、退園となる方へのフォロー方法等の情報収集をしていく。

【問】兄弟姉妹の同園通所についての考えは。

【答】入所の低年齢化により、3歳未満児の新規受け入れ可能性が少なくなっている。人材確保を含めた効果的な受け皿の整備を進め、他市を参考に、多くの方に理解いただける仕組みになるよう努める。



国民健康保険における高齢者フレイル対策事業について

柴田 訓成



【問】実施状況及び、保健事業と介護予防の一体的実施の考え方は。

【答】特定健診集団健診での特定保健指導の際、フレイル予防等に係る指導を実施。幅広い年齢に対し様々な施策を一体的に実施する。



【問】保険年金課と介護高齢課との連携は。

【答】福祉行政についての考えは。

【問】4年10月現在の市の高齢化率は26・3%。今後、介護等に必要な社会保障費の増大などを乗り切るため、地域包括ケアシステムの構築が重要。介護予防の推進により要介護状態になることを遅らせ、サービスの持続的な提供につなげていく。



桜ヶ丘ミュージアムについて

木本 朗善



【問】主な成り立ちや施設名称変更の経緯は。

【問】4年度に開催した集客力ある展示会は。



桜ヶ丘ミュージアム

【答】とよかわ紋・藩ワールドは、ゆかりのある自治体との交流も行き、歴史展として最大級の1万2千人を超える入場者数となった。

【問】今後の展望は。

【答】質の高い文化芸術に触れる機会、学芸員など人材の確保等に努め、文化芸術に親しむことに資する施設であり続けることを目指す。文化が、特に身構えずに普通の暮らしの中にある環境を継続することが重要と考える。

【問】足を運んでもらうための周知の工夫は。

【答】ポスター、ホームページのほか、SNSで情報発信している。

⑬国土強靱化対策プログラム

防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5カ年対策プログラムのこと。この中で、蒲郡バイパスの6年度開通が公表された。



【問】 国における蒲郡バイパス事業の予算は。
 【答】 国土強靱化対策プログラムがスタートした3年度以降は、年間100億円ペースで順調に予算確保がされていると認識している。
 【問】 国府赤根線のトンネル工事の状況は。
 【答】 見直しの設計が



柴田輝明

道路整備の状況について



終わり次第、着手が可能な状況になると認識。利便性向上が期待できるため、早急な着手を県に強く要望していく。
 【問】 早急な対応が必ず必要な土木事業要望に対する取り組みは。
 【答】 維持修繕工事とかんがい排水工事は年に1度から随時受け付けに変更。また、電子メールで直接提出できるようにする。本市のように、多種類の事業全体に対して全町内会に要望の照会を行うのは近隣でも限られた市のみ。地域とのコミュニケーションしながら、土木事業を進めていく。

市議会を見るには

本会議の様子は、インターネットでライブ中継及び録画配信を行っていますので、ぜひご利用ください。

会議名一覧	議員名一覧	表示設定	動作環境
令和5年第1回定例会 - 2月21日 初日			
ご覧になりたい発言を選択ください。			
開会、会議録署名議員の指名、会期の決定			再生
施政方針並びに予算案大綱説明 (第1号議案~第14号議案)			再生
提案説明 (第15号議案~第33号議案)			再生
採決議案 (提案説明【同意第1~6号、報告第1~2号】、質疑、表決)			再生



本会議の様子は、市役所ロビー(本庁舎1階)のモニター中継で見られることもできます。

ここをクリックしてください。

中継へのアクセスはこちら



※通信料は利用者負担です。

